

本市の交通安全対策への新技術導入について

公明党　野村　誠

問 高齢者や児童などの安全を守るため、信号機の導入が困難な横断歩道でも導入でき、薄暮・夜間を中心に視認性向上による安全対策として活用できる、埋め込み型信号灯・スマート横断鋲・照明ボラードなど新技術の導入を検討してはどうか。

答 土木部長　市内には、議員ご認識のとおり、千葉県公安委員会の判断により信号機のない横断歩道があり、特に薄暮や夜間の時間帯において視認性を向上させることは、交通事故防止の観点から重要です。また、本市の交通安全計画においても、夜間事故防止対策の推進を位置付けています。ご提案の埋め込み型信号灯や照明ボラードなどの新技術については、歩行者や横断歩道の存在を分かりやすく知らせることで、車のドライバーへの注意喚起につながるものと認識しております。今後、さらに他自治体における導入例や設置効果をヒアリングし、また費用や維持管理の面にも着目し、調査研究をしてまいります。

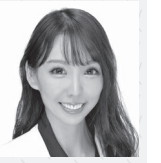


南流山駅前広場改修基本計画について

流山みらい　中村　彰男

問 南流山駅の北口駅前広場は交通機能を集約、南口駅前広場は環境機能を集約し、日常的に訪れたくなる空間として計画されている。地元住民の協力をさらに得るための、南流山駅前広場改修基本計画の具体的なＰＲ手段について問う。

答 市長　南流山駅前広場改修基本計画の策定については、説明会の開催やアンケートの実施、本計画書の回覧を南流山周辺の6自治会に依頼したほか、市ホームページや窓口での案内をしました。今後も本事業を広く周知するため、南流山駅前でのパネル展示や本計画の説明・意見聴取のためのオープンハウスを実施し、地元住民や駅利用者の意見を伺う予定であり、頂いた意見を駅前広場整備に取り入れたいと考えています。また、鉄道施設や南流山駅前のデジタルサイネージへの掲示を検討しているほか、イルミネーション設置は、南流山のイメージ向上や南流山駅前広場改修計画のＰＲを含め、年末に間に合うよう計画しています。



小児救急医療体制の充実について

流政会　小沢　えみり

問 小児の初期救急については、市内の医療機関で受診できる体制を確保するべきである。また、第二次救急・第三次救急については、近隣市の医療機関へ円滑につなぐ広域的な連携体制を構築する必要があると考えるがどうか。

答 健康福祉部長　小児の初期救急については、夜間や休日に受診できる体制を確保するため、流山市平日夜間・休日診療所を設置するとともに、夜間小児救急については、流山市医師会および東葛病院と協定を締結しています。第二次救急・第三次救急については、議員ご認識のとおり、市単位ではなく、医療圏内で受け止めるべきものであることから、現在、他市との連携を含めた広域で受け止める体制構築に向け、協議しているところです。





独居高齢者の安全・安心対策について

流政会　青野　直

問 独居高齢者の方々が今まで以上に元気かつ健康に生活できるようにするためには、行政の支援をはじめ、地域の共助が何よりも大切と考える。ついては、独居高齢者の安全・安心な生活のさらなる確保策について、当局の見解を問う。

答 健康福祉部長　ひとり暮らし高齢者の安否確認については、高齢者給食サービスや緊急通報装置の給付、ごみ出し支援事業を行っています。地域支え合い活動では、民生委員や自治会の見守り活動が実施されています。また、新聞・食材配達、ライフライン提供事業者との協定を締結し、日常業務の中で見守りをする体制を構築しています。課題は、緊急時に連絡を取れる親族などがいない高齢者の増加や、周囲の支援を拒んだり、近隣住民との交流がない高齢者が少数いることだと考えています。行政の支援と地域による共助の活動との緊密な連携が、ひとり暮らし高齢者の安全・安心な日常生活につながると認識しています。



流山おおたかの森駅西口の交通混雑問題

流政会　渡辺　仁二

問 流山おおたかの森駅西口駅前広場では、雨天時や夕方に送迎車が集中し、二重、三重停車により後続車の通行やバス、タクシーの運行に支障が生じている。車両と歩行者の動線が錯綜しているため、安全上の課題について市の見解を問う。

答 市長　当該広場は、曜日や時間帯、天候の状況により駅利用者の送迎車両で混雑することは認識しており、特に雨天時の夕方の時間帯など、特定の状況下において著しく混雑しています。交通量調査については、令和４年度に大型物流施設の稼働に伴う企業送迎バスの増加が見込まれたことから実施しましたが、以後実施しておりません。令和９年度に、曜日や時間帯、天候別など、さまざまな交通状況における交通量調査を実施し、その後交通広場の基本計画を策定して、将来の交通需要に対応する交通広場となるよう、改良を目指してまいります。





福祉の谷間に置かれた市民への施策充実を！

阿部　治正

問 日常生活に強い活動制限がありながら、指定難病受給者証や障害者手帳の対象外の人がいる。①医師の意見書などに記載の症状や日常生活の状況から、市独自に対象とする仕組みを検討しては。②市への相談を分析し、実態把握を充実させては。

答 健康福祉部長　①市単独の福祉施策として、障害者手帳や指定難病受給者証がない場合でも医師の意見書などにより対象者を判断する仕組みについては、判断基準の明確化が極めて困難なため、市の判断に基づく金銭的な給付やサービス給付を検討する考えはありません。②各相談窓口の記録では、障害者手帳や難病受給者証の有無、健康上の問題、既存制度につながらなかった理由、必要とされた支援などを記載するようになっています。各相談窓口では、事例とその対応方法を共有化する必要があるとの課題意識を持っているため、会議の場など、各相談窓口が集まる機会などを利用し、市民の実情把握に努めてまいります。



外国人観光客誘致のアプローチについて

森田　洋一

問 ①夏場のインバウンドはビジネスチャンスでは。②台湾観光客の集客について、旅行代理店との交渉などを中心に、団体客を主な対象とした定番商品化を目指してはどうか。③自らの体験などを組み合わせた観光コースを提案してはどうか。

答 経済振興部長　①日本政府観光局が発表した訪日外客数によると、今年は7月としての過去最多を記録しており、東アジアなどを中心に、夏季休暇に合わせた訪日需要の高まりがあるため、夏季も誘致の機会があると考えます。引き続き訪日外国人の動向を注視し、誘致に取り組んでまいります。②今年度も台湾の旅行会社を訪問営業し、流山本町を訪れることが組み込まれた定番のツアーとしてもらえるよう働きかけてまいります。③外国人観光客のニーズは多種多様で、日本人に人気のスポット訪問や体験の需要が多いことを認識しています。外国人向けモニターツアー実施後のアンケートを基にさらなる内容の充実に努めます。



本市の下水道使用料改定について

公明党　岡　明彦

問 下水道使用料が大きな改定率となったことについて、①見直しの仕組みにどのような課題があったと分析するか。②分析は「(仮称)流山市上下水道事業経営戦略」にどう生かされるのか。③負担感や市民の納得と共感を得るための周知啓発は。

答 上下水道事業管理者　①下水道使用料は、見直しの具体的基準を設けず、経営状況から判断されてきました。今回大きな改定率となった理由は、県に支払う負担金の単価が平成21年度から令和9年度までに約31％上昇している中、本市では価格改定をしてこなかったこと、また、今まで下水道施設の更新は壊れたところを直す考え方で進めてきたところ、壊れる前に更新する考え方に大きくかじを切るため、老朽化対策の加速化が必要なことが主な原因と考えます。②改定条件や方法、手順を明記します。③ながれやま上下水道だよりや広報ながれやま、市ホームページで周知し、パブリックコメントや審議会で市民の意見を聴取します。